

平成28年第1回定例会一般質問要旨

◎本見議員

1. 「コミュニティスクール」についての考えと取り組みについて

現在の社会を取り巻く状況は、人口減少の進行、地域社会のつながりの希薄化や児童虐待、昨今は防災教育の取組など課題が山積しております。

このような社会の変化に沿って、これまでにない、新しい形での教育改革の波がきていると考えているところです。

コミュニティスクールは、

○学校の基本方針を地域が承認し、それに基づき校長が執行するというスタイルの実現

○学校と地域、家庭が一体となった教育の実現

○地域との連携による、開かれた学校づくり

という点からも、有益なものと捉えているところです。

本町として「コミュニティスクール」について、どのような見解を持っているのか、教育長に伺います。

2. 自治会の現状と課題の取り組みについて

(1) 町は自治会に広報の配布や募金活動ほか防犯関連、衛生環境関連、民生委員や投票立会人選任協力など多くの事務を依頼しています。

しかしながら昨今の自治会運営においては、加入率の低下や役員のなり手不足、低所得世帯の会費負担増などいろいろな課題を抱えています。

それとは裏腹に災害時の対応や子ども達の見守り、高齢者の安否確認など期待される役割は、年々おおきくなっています。

自治会運営の現状と課題について、町はどれだけ把握し、課題解決に向けた対策を考えているか伺います。

(2) 自治会への運営費補助金については、平成27年度3,590千円の予算で、各自治会へ交付されておりますが、その役割とボリュームを考えた場合、決して適切とは思われません。

①自治会運営費補助金の総額の根拠と各自治会への交付額及び単価（戸数割・広報配布手数料）は適切と考えているのか。

②自治会運営費を増額し、自治会役員のなり手不足、低所得世帯の会費負担軽減、自治会会費の減額などの検討を行う考えは。

平成28年第1回定例会一般質問要旨

◎船木議員

1. 防災について

①住民が安全で安心して生活するために、昨年災害のあった河川等の恒久対策について今後どのように考えているか。

②ハザードマップの周知について

2次災害が起きないようにするために、今後の防災教育が必要と思われませんが、どのように考えているか。

平成28年第1回定例会一般質問要旨

◎但木議員

1. 平成28年度町政執行方針をうけて

- ①TPP「大筋合意」に対する町長の見解と今後の取り組みは。
- ②子育て支援として保育料の負担軽減を図るとありますが、一時保育の利用料の見直しをあわせて行う考えは。
- ③地域医療の充実について
要介護1・2の方の特養入所ができなくなり、今後家庭介護が増えていくのではないかと予測される中、訪問診療の体制づくりは。

以上、町長の考えをお伺いします。